

令和4年度「精神医学コース」筆記試験 2022.06.24

1. 自閉スペクトラム症の特徴でないのはどれか、1つ選べ。
 - ① 男児に多い。
 - ② 感覚過敏がある。
 - ③ 対人関係の苦手さがある。
 - ④ 就学前に症状がみられる。
 - ⑤ 物事に対するこだわりが弱い。

2. 23歳の男性。工作中居眠りが多く、重要な商談や会議中でも発作的に眠ってしまうことが多いため来院した。数年前から夜間十分に眠っても日中に何回も急に強い眠気を認めるようになり、最近は大笑いや驚いた後に急に全身の力が抜けることが増えてきたという。神経診察に異常を認めない。
この患者にみられる可能性が高い特徴はどれか、1つ選べ。
 - ① 入眠時に金縛りにあう。
 - ② 夜間せん妄を合併する。
 - ③ 睡眠発作後も眠気が残る。
 - ④ 睡眠中にパニック発作を認める。
 - ⑤ 睡眠中に脚を動かしたいという欲求が強まる。

3. 「問題2」の症例において、診断に有用な検査はどれか、1つ選べ。
 - ① 針筋電図
 - ② 聴性脳幹反応
 - ③ ホルター(Holter)心電図
 - ④ ポリソムノグラフィ
 - ⑤ ドパミントランスポーター-SPECT

4. 30歳の男性。「3ヶ月くらい前から、仕事の能率が悪いのが気になる」と訴えて産業医面談を希望した。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行に伴い、約半年前から会議もオンラインで行う在宅勤務となった。妻と3歳の男児との3人暮らしだが、自宅周囲の騒音や男児の世話のためにイライラして仕事に集中できないという。約1ヶ月前から寝酒を飲んで眠るようになったが、その頃から朝の起床時に気持ちが沈んでいることが多くなった。毎日疲れが残り、気がつくとき取り留めなく考え事をしているという。
産業医の対応として適切でないのはどれか、1つ選べ。
 - ① 精神科受診を勧める。
 - ② 寝酒はやめるように指導する。
 - ③ 本人の同意を得て上司と面談する。
 - ④ 仕事の仕方や内容について詳しく聴く。
 - ⑤ 感染症の流行が終息するまで辛抱するよう励ます。

5. 患者の言葉のうち幻聴ではないと考えられるのはどれか、1つ選べ。
- ① 「部屋に誰もいないのに『もっと勉強しろ』と男が話しかけてきます」
 - ② 「自分でもおかしいと思うが、近くに線路はないのに電車の走る音がします」
 - ③ 「家族は誰も聞こえないというが、夜になると車のエンジンをかける音が聞こえます」
 - ④ 「カチカチという実際の機械の音に重なって『馬鹿、馬鹿』という女性の声が聞こえます」
 - ⑤ 「駅の向かい側のホームに立っている友人の仕草から自分の悪口をいっているのがわかります」
6. レム睡眠で正しいのはどれか、1つ選べ。
- ① 徐泳睡眠と呼ばれる。
 - ② 骨格筋の活動が活発になる。
 - ③ 夢を見ていることが少ない。
 - ④ 自律神経系の活動が変動しやすい。
 - ⑤ 成人では一晩の睡眠の半分以上を占める。
7. 64歳の女性。1年前から徐々に物忘れがひどくなってきていることを心配した家族に伴われて来院した。最近では財布をしまったことや食事をしたことを思い出せないこともあるという。
この患者の診断に有用な検査はどれか、1つ選べ。
- ① Rorschach テスト
 - ② 田中・Binet式知能検査
 - ③ 津守・稲毛式発達検査
 - ④ Wechsler 成人知能検査
 - ⑤ 簡易精神症状評価尺度 [Brief Psychiatric Rating Scale < BPRS >]
8. 統合失調症を強く示唆する患者の発言はどれか、1つ選べ。
- ① 「自分は電波で操られている」
 - ② 「(壁のしみを指して)虫が這っている」
 - ③ 「電車の中で発作が起こるのが心配です」
 - ④ 「人前では緊張して思うように話すことができません」
 - ⑤ 「鍵をかけたのか何度も確認しないと気が済みません」
9. 外見は40歳前後に見える男性。路上にうずくまっているところを警察官に保護されたが、「自分が誰だかわからない」と言うため、警察官に伴われて来院した。身元がわかるような所持品はなかった。会話は可能で、関西弁を話したが、関西地方に住んだ記憶はないという。外傷はなく、血液検査、脳画像検査、脳波などの身体的な精査では異常はなく、保護されてからの記憶は保持されていた。
考えられる疾患はどれか、1つ選べ。
- ① 若年性アルツハイマー型認知症
 - ② 一過性全健忘
 - ③ 離脱せん妄

④ 解離性健忘

⑤ 統合失調症

10. 「問題 9.」の患者で診られる可能性が最も高い特徴はどれか、1つ選べ。

- ① 替え玉妄想がみられる。
- ② 切符を買うなどの一般的な行動はできる。
- ③ 記憶がないことについて深刻に悩んでいる。
- ④ 抗精神病薬を投与する必要がある。
- ⑤ アルツハイマー型認知症の初期症状である。

11. 68 歳の男性。夜間に寝言が多いことを同居家族に指摘されたため来院した。既往歴、家族歴には特記すべきことはない。同伴した妻によると、夜間に大声で叫んだり、足を振り上げて隣に寝ている妻を蹴とばしたりすることがあったという。神経診察に異常を認めない。血液検査、血液生化学検査、頭部単純 MRI に異常を認めない。

考えられる疾患はどれか 1つ選べ。

- ① レム(REM)睡眠行動障害
- ② 睡眠時無呼吸症候群
- ③ 下肢静止不能症候群
- ④ 突発睡眠
- ⑤ 夜驚症

12. 66 歳の女性。不眠を主訴に来院した。3 ヶ月前から寝つきが悪く、一度眠っても夜中に 2、3 回目が覚めるため受診した。知能低下や抑うつ感は認めず、食欲にも異常を認めないため、ベンゾジアゼピン系睡眠薬を処方した。

患者に対する説明として適切なのはどれか、2つ選べ。

- ① 「寒がりになることがあります」
- ② 「足もとがふらつくことがあります」
- ③ 「歯ぐきが腫れてくることがあります」
- ④ 「胸がはり乳汁が出るがあります」
- ⑤ 「飲み続けた後、急に中止すると不安感が出ることがあります」

13. 75 歳の男性。一人暮らし。3 ヶ月前に肺癌と診断され、肺内転移、骨転移を認めた。家で穏やかに過ごしたいという本人の希望で在宅療養している。自宅で最期を迎えることを希望している。2 週間前からはほぼ寝たきりでトイレに行くこともできず、訪問看護サービスとホームヘルパーの訪問を受けている。5 日前から腰痛が出現し、訪問診療の医師が薬物療法を行ったが腰痛が悪化している。本日、医師が診療に訪れた際に患者が「もう今日で死なせてください」と強く訴えた。本日の訴えに対する医師の対応として正しいのはどれか、1つ選べ。

- ① 「そんなことを言わずに頑張りましょう」
- ② 「今すぐ安らかに旅立つお手伝いをします」
- ③ 「すぐにホスピスへの入院を検討しましょう」
- ④ 「末期肺癌の根治的治療法がありますので安心してください」

⑤ 「なぜそのようなお気持ちになったのか、お話しいただけますか」

14. 80歳の男性。睡眠障害を主訴に来院した。数年前から不眠、中途覚醒がみられている。既往歴、家族歴に特記すべきことはない。喫煙歴はない。飲酒は晩酌をたしなむ程度である。コーヒーを3杯/日飲む。睡眠薬はこれまでも時折服用していたが効果が不十分と感じ、睡眠薬の追加処方を希望して受診した。

行うべき指導はどれか、1つ選べ。

- ① 就寝前の飲酒
- ② 睡眠薬の増量
- ③ 起床時の日光浴
- ④ 1時間以上の昼寝
- ⑤ 夕食時のコーヒー摂取

15. 33歳の男性。3ヶ月前から欠勤が増え、職場でアルコール臭を指摘された。産業医の勧めで精神科を受診したところ、アルコール依存症と診断された。診察時、「仕事が忙しく気が落ち込むため飲酒量が増えた。飲みすぎといわれたので3日前から断酒した」という。手指の震えと発汗を認める。

この患者で正しいのはどれか、1つ選べ。

- ① 身体依存が認められる。
- ② 医師から退職を勧める。
- ③ うつ病を合併する可能性は低い。
- ④ 治療の第一選択は薬物療法である。
- ⑤ 自ら積極的に治療を求めることが多い。

16. 34歳の女性。「誰彼かまわず夜中に電話をする」状態が持続するため、母親に連れられて来院した。2週間前から話している内容がまとまらない、些細なことを契機に笑い出すと止まらないなど、普段とは異なる行動がみられた。睡眠をほとんどとっていないが、本人は疲れを感じていない。親戚や友人の電話でマンションや車の購入計画などを話し、相手が反対すると激しく怒り出すようになった。血液検査、脳画像検査、脳波検査、脳脊髄液検査で異常は認めず、違法薬物の摂取もなかった。

この患者でみられる症状はどれか、2つ選べ。

- ① 観念奔逸
- ② 反響言語
- ③ 誇大妄想
- ④ させられ体験
- ⑤ カタレプシー

17. 身体依存が形成される薬物はどれか、2つ選べ。

- ① 大麻
- ② コカイン
- ③ モルヒネ

- ④ メタンフェタミン
- ⑤ フェノバルビタール

18. 35歳の男性。テレビを見ている時に口をもぐもぐと動かす、舌を突き出すなどの動きがみられることを、家族に指摘されたと訴えて来院した。約6か月前からその動きがみられるという。30歳頃、幻覚妄想状態を呈して抗精神病薬を投与され、以後、服薬を継続中である。

この動きについて正しいのはどれか、1つ選べ。

- ① 睡眠中は消失する。
- ② 抗Parkinson病薬が著効する。
- ③ 抗精神病薬に特異的な副作用である。
- ④ 口の動きに注意を向けさせると増悪する。
- ⑤ 片側上下肢を投げ出すような不随意運動を伴う。

19. 55歳の男性。夜中の記憶がないことを主訴に妻とともに来院した。数年前に不眠に対して睡眠薬を処方されて以来、継続して服用し、仕事を続けていた。経営していたレストランに2週前に泥棒が入り、ひどく落ち込んでいる様子であった。昨日、午後7時に帰宅して夕食を済ませ、午後11時に就床した。翌日の午前1時頃、少しでも本人を励まそうとする友人から、カラオケに誘う電話があり、カラオケ店にタクシーで行き宴会に参加し、午前4時頃帰宅した。帰宅後約8時間睡眠をとって午後勤務についたが、夜中のことを全く覚えていない。友人によると普通に歌い飲食したとのことであった。アルコールは全く飲まず、当日も飲酒していない。妻の話によると2か月前くらいから夜中に食事をしたり、コンビニエンスストアに行ったりしていることを、翌朝全く覚えてないことが3回あったという。

この患者で考えられる疾患はどれか、1つ選べ。

- ① 夜間せん妄
- ② 一過性全健忘
- ③ 全生活史健忘
- ④ 睡眠薬による前向健忘
- ⑤ レム(REM)睡眠行動障害

20. 6歳の男児。首を左右に振る動作を主訴に、母親に連れられて来院した。昼食後テレビをみているときに首を左右に振る動作が5分程度続いたため受診した。7か月前から素早い瞬目を繰り返すことに気付かれ、2か月程度で一旦治まった。4か月前から瞬目が再びみられるようになり、突発的、非律動的に顔をしかめたり、首を左右に振ったりするようになった。いずれの症状も睡眠中にはみられず、リラックスしている時に多く出現する。短時間であれば自分で抑制することができる。神経診察で異常を認めない。

最も考えられるのはどれか、1つ選べ。

- ① 振戦
- ② チック
- ③ バリズム
- ④ 舞踊運動
- ⑤ アテトーゼ

21. 強迫症(性障害)の患者にみられる強迫行為について正しいのはどれか、1つ選べ。

- ① 行為中の記憶がない。
- ② 行為は夕方増悪する。
- ③ 行為によって不安は緩和される。
- ④ 患者は行為を合理的であると考えている。
- ⑤ 「行為をしなさい」という命令が外から頭の中に吹き込まれる。

22. 精神科における治療時の写真(右側)を示す。この治療が有効な疾患はどれか、1つ選べ。

- ① てんかん
- ② 強迫症(性障害)
- ③ 緊張型頭痛
- ④ うつ病性障害
- ⑤ 注意欠陥多動性障害(ADHD)



23. 統合失調症の一次妄想と考えられる患者の言葉はどれか、3つ選べ。

- ① 「(突然)自分は聖徳太子の子孫であることがわかった」
- ② 「(食事の途中で)誰かが自分の食事に毒を盛っている」
- ③ 「(漠然と)何か恐ろしいことが起こりそうでひどく怖い」
- ④ 「(電車の客が会話する様子を見て)自分の悪口を話している」
- ⑤ 「(隣家を見て)あの玄関の形は明日自分が死ぬことを意味している」

24. 20歳の女性。頭髪や眉毛を抜くことを主訴に来院した。頭痛のために受診した内科で、精神科の受診を勧められ受診した。小学3年生の時から頭髪や眉毛を抜くことが癖になり、現在では頭髪はほとんどなくウィッグ(かつら)を装着している。スクールカウンセラーの面接を受けたことはあったが、社会人になって中断している。自分でも何とかしたいと思っているが、これまで精神科を受診する勇気が無かったという。食欲と睡眠の障害は認められず、日常生活に大きな支障はみられない。Hamiltonうつ病評価尺度は12点(0点~7点:正常)である。

この患者の評価に適切な検査はどれか、2つ選べ。

- ① Rorschachテスト
- ② 津守・稲毛式発達検査
- ③ 前頭葉機能検査(FAB)
- ④ 文章完成法テスト(SCT)
- ⑤ リバーミード行動記憶検査(RBMT)

25. 25歳の女性。異性関係や職場の人間関係のトラブルがあるたびにリストカットを繰り返すため、母親に伴われて精神科を受診した。本人はイライラ感と不眠の治療のために来院したという。最近まで勤めていた職場は、複数の男性同僚と性的関係をもっていたことが明らかとなり、居づらくなって退職した。親しい友人や元上司に深夜に何度も電話をかけるなどの行動があり、それを注意されると、怒鳴り散らす、相手を罵倒するなどの過激な反応がみられた。相手があきれて疎遠

になると、SNS で自殺をほのめかし、自ら救急車を呼ぶなどした。一方、機嫌がよいと好意を持っている相手にプレゼントしたり、親密なメールを何度も出したりするなど感情の起伏が激しい。

この患者にみられることが予想される特徴はどれか、1つ選べ。

- ① 繰り返し嘘をつく。
- ② 第六感やジンクスにこだわる。
- ③ 慢性的な空虚感を抱えている。
- ④ 完全癖のため物事を終了できない。
- ⑤ 自分が注目の的になっていることを求める。

26. 63歳の女性。倦怠感を主訴に、夫とともに来院した。夫からみると「以前と比べて、ぼーっとしている」とのことであった。36歳と57歳でうつ病と診断されている。2回とも抗うつ薬を服用し、6か月程度で回復し、1年ほど服薬を続けた。その後は抑うつ感を認めていない。うつ病の時期を除いて仕事は順調で、職場では事務能力を高く評価されていた。仕事は順調であったが、3か月前、自分に合わない上司にかわったことを嘆いていた。2か月前から「体がだるい。疲れやすい。頭痛がする」と訴えたため、自宅近くの診療所を受診し、抗不安薬と睡眠薬を処方された。薬物を増量しながら仕事を続けていたが、1か月前から仕事のはかどりが著しく悪くなり、周囲から見てもぼーっとしている時間が長くなった。3週間前から仕事に行っても仕事にならないため自宅で休養しているという。本日受診時、ぼーっとした表情であり、少し暗い感じであった。改訂長谷川式簡易知能評価スケールは9点(30点満点)で、回答には非常に時間がかかった。

この時点で最も可能性の低い疾患はどれか、1つ選べ。

- ① うつ病
- ② 慢性硬膜下血腫
- ③ 甲状腺機能低下症
- ④ Alzheimer型認知症
- ⑤ 精神作用物質使用による精神および行動の障害

27. うつ病の症状に含まれるのはどれか、1つ選べ。

- ① 食欲がない。
- ② 入眠時に幻視を認める。
- ③ 好きなことだけにやる気を出す。
- ④ 簡単な計算でも間違った答えを言う。
- ⑤ 自殺せよという命令がテレビシーで頭に入ってくる。

28. 成人において、自閉症スペクトラム症に比べて注意欠陥多動症(ADHD)で高頻度に見られる症状はどれか、1つ選べ。

- ① 視線が合わない。
- ② 冗談が通じない。
- ③ ケアレスミスが多い。
- ④ 的はずれの応答が多い。
- ⑤ 左右対象であることにこだわる。

29. 逆耐性現象を示す精神病症状をきたすのはどれか、1つ選べ。

- ① LSD
- ② 大麻
- ③ アルコール
- ④ ジアゼパム
- ⑤ メタンフェタミン

30. 22歳の男性。家庭内で自室に閉じこもり「おれの悪口を言うな」、「外を通る人が窓からのぞいている」などの実際には認められないことを口走ることが多くなったため、両親とともに来院した。診察した精神保健指定医は、治療が必要であるが本人に治療意欲がないことを考え、医療保護入院とした。

禁止できるのはどれか、2つ選べ。

- ① 弁護士との面会
- ② 両親あての手紙
- ③ 友人あての電話
- ④ 家族の希望による自宅外泊
- ⑤ 精神医療審査会への退院請求

31. 選択性緘黙について正しいのはどれか、1つ選べ。

- ① 聴力は正常である。
- ② 脳波検査が診断に有用である。
- ③ 言語理解の障害が原因である。
- ④ 発声練習による治療が有効である。
- ⑤ 思春期に多い。

32. 30歳の男性。このところ仕事に身が入らず遅刻が目立つようになったため、上司からの勤めで産業医面談を受けた。面談で精神科受診を勧められ来院した。入社以来、事務職に携わってきたが、3か月前に営業職に異動した。約1か月前から平日は食欲が低下し、なんとなく元気が出なくなった。休みの前日は熟睡できるが、それ以外の日はなかなか寝つけず、一旦寝付いても職場の夢をみて夜中に目が覚めることが多くなった。欠勤はなく、休日は趣味のサーフィンを以前と変わらず楽しめているという。

初診時の対応として適切なのはどれか、1つ選べ。

- ① 投影法の心理検査を実施する。
- ② 休職を勧める。
- ③ 抗うつ薬を処方する。
- ④ 仕事に関する本人の考えを聞く。
- ⑤ 頑張るよう励ます。

33. アルコール依存症の治療について適切なのはどれか、1つ選べ。

- ① 患者に知らせずに抗酒薬を食事に混ぜて投与する。
- ② 断酒会は匿名参加が原則である。
- ③ 入院治療が第一選択である。
- ④ 離脱症状にベンゾジアゼピン系薬を投与する。
- ⑤ 脳症の予防としてビタミンDは有効である。

34. 25歳の男性。幻聴を主訴に兄に連れられて来院した。昨日から「そばに人がいないのに、考えていることを批判し動作を命令する声が聞こえてくる。つらくて仕方がない」と苦痛を伴った幻聴を訴えるようになったため、精神科病院を受診した。この病院で3年前に統合失調症と診断され、通院中であった。患者はこの声が聞こえなくなるよう入院の上で治療して欲しいと訴えている。

適切な入院形式はどれか、1つ選べ。

- ① 緊急措置入院
- ② 医療保護入院
- ③ 任意入院
- ④ 応急入院
- ⑤ 自由入院

35. 17歳の女子。体重減少を主訴に来院した。2年前から摂食量を意識的に減らすようになり、学校における定期健康診断でやせを指摘された。医療機関への受診を指導されたが受診しなかったという。その後も体重がさらに減少しており、心配した母親に付き添われて受診した。身長150cm、体重27kg。体温36.1℃。脈拍52/分、整。血圧90/50mmHg。前腕や背部に産毛の増生を認める。下腿に軽度の圧痕浮腫を認める。

この患者で認められる可能性が高いのはどれか、1つ選べ。

- ① 遊離トリヨードサイロニン(FT3)が高値である。
- ② GHが高値である。
- ③ 月経周期は正常である。
- ④ コルチゾールが低値である。
- ⑤ LH/FSH比が高値である。

36. 28歳女性。生来健康であったが、2ヶ月前に、職場のエレベーターの中で突然短時間のパニック発作が出現した。数日後、同じエレベーター内で同様の発作が起り、不安で出勤できなくなった。なお、それ以前にはエレベーターを怖がったり、回避したりすることはなく、薬物等の摂取歴もない。

この患者について、診断を確定するために最も有用な質問はどれか1つ選べ。

- ① 「その発作には、動悸や呼吸困難感がありましたか」
- ② 「その発作は、他の場所でも起りますか」
- ③ 「その発作の持続期間はどれくらいですか」
- ④ 「その発作には、きっかけがありますか」
- ⑤ 「その発作が起こった状況を避けてしまいますか」

37. 4歳男児。保育所で他の児に興味を示さないことを指摘され来院した。身長 102cm、体重 15.6kg。乳児期には母親の後追いをせず、現在も一人で遊ぶことが多い。発語が遅く、二語文は話せない。換気扇に異常な興味を持っている。

この疾患について正しいのはどれか、3つ選べ。

- ① 日々の予定は事前に伝えないようにする。
- ② 説明する時は、図や写真を使うよう努める。
- ③ 視線を合わせて密着せずに関わる。
- ④ 必ずほめる。
- ⑤ 一度覚えられなかった課題を、何度も繰り返してやらない。

38. 23歳女性。3年前に暴力団員に騙されて監禁されたが、数ヶ月後に脱出して保護された。その後、徐々に落ち着いたため就職し、1年前には同僚男性との交際が始まった。しかし、男性に優しくされると過度にびっくりし、監禁時の出来事がフラッシュバックして、気づくと暴力を振ってしまうため、男性を避けるようになった。夢でも当時の出来事を繰り返し見るため眠るのが怖くなり、最近では趣味のジャズダンスもやらなくなっている。

この疾患について特徴的でないのはどれか、1つ選べ。

- ① フラッシュバック
- ② 自己破壊的な行動
- ③ 睡眠障害
- ④ 心的外傷の重要な局面に関する記憶障害
- ⑤ 驚愕反応の低下

39. 25歳女性。過食と嘔吐とがあるために母親に連れられて来院した。1年前から短時間に大量の食物を摂取しては、指を口に入れて嘔吐するというエピソードを週に2~3回繰り返している。体重の変動が著しい。

この疾患で通常みられない所見・症状はどれか、1つ選べ。

- ① 代謝性アルカローシス
- ② 過剰な運動
- ③ 低カリウム血症
- ④ BMI(Body Mass Index)が17.5以下
- ⑤ 不整脈

40. 25歳独身女性。原因不明の血尿のため内科病棟に入院した。毎日明らかな血尿を認めたが、自覚症状はなく、精査にて軽い貧血以外に異常を認めなかった。入院2週間後、病室を離れている間に、看護師が偶然、患者の所持品から使用済の注射器と注射針、十数セットを見つけた。この件について説明を求めても患者は無言のまま、翌朝には無断で退院していた。

この疾患について正しいのはどれか、3つ選べ。

- ① Munchausen 症候群とも呼ばれる。
- ② 詐病との鑑別が重要である。
- ③ 統合失調症が併存することがある。
- ④ 医療関係者はまれである。

⑤ 代理人によるものがある。

41. 56歳女性。右乳癌の手術、化学療法にて入院3週間目の夜、急に言動に脈絡がなくなり、点滴を自ら外そうとする。止めようとする看護師に物を投げつけ、「悪魔め、私の子供を殺すな」などと激しくののしる。当直医が話しかけてもうわの空で、興奮しており、病院にいることを理解していない。なお、全身状態は良好である。

この患者の状態への対応として最も適切なのはどれか、1つ選べ。

- ① 気分安定薬を投与する。
- ② 抗うつ薬を投与する。
- ③ 抗不安薬を投与する。
- ④ 抗精神病薬を投与する。
- ⑤ 抗てんかん薬を投与する。

42. 精神科に関連した検査について、誤っているのはどれか、1つ選べ。

- ① Wechsler Adult Intelligence Scale(WAIS)では、言語性IQが測定できる。
- ② 認知症のスクリーニング検査には、Mini-Mental State Examination(MMSE)がある。
- ③ 前頭葉機能検査には、Frontal Assessment Battery(FAB)がある。
- ④ Rorschach testでは、左右対称のインクのシミでできた10枚の図版を見せる。
- ⑤ パーソナリティ特徴を把握する場合、質問紙法が適している。

43. 選択的セロトニン再取り込み阻害薬(Selective Serotonin Reuptake Inhibitor: SSRI)について正しいのはどれか、1つ選べ。

- ① パニック症には効果がない。
- ② 口渇や便秘は、三環系抗うつ薬よりも強い。
- ③ 抗うつ効果は、1週間以内に現れることが多い。
- ④ 離脱症候群には、嘔気、めまい、頭痛などがある。
- ⑤ 改善が認められた時点で、すぐに減量することが望ましい。

44. レー(Lewy)小体型認知症患者に通常みられない症状はどれか、2つ選べ。

- ① 作話
- ② 神経遮断薬による重篤な過敏性
- ③ パーキンソニズム
- ④ 相貌失認
- ⑤ レム(REM)睡眠行動異常

学年: 4 番号: 007 氏名: ジェームス・ポンド

番号	解答	番号	解答	番号	解答
1	5	16	1,3	31	1
2	1	17	3,5	32	4
3	4	18	1	33	4
4	5	19	4	34	3
5	5	20	2	35	2
6	4	21	3	36	2
7	4	22	4	37	2,3,4
8	1	23	1,3,5	38	5
9	4	24	1,4	39	4
10	2	25	3	40	1,2,5
11	1	26	2	41	4
12	2,5	27	1	42	5
13	5	28	3	43	4
14	3	29	5	44	1,4
15	1	30	3,4		

合計: _____ 点/88満点 (1問2点)

雑感

カリキュラム変更によって3年12月から4年6月に移動したが、内容はほとんど変わらず。

普通に出席していれば、落とすことはない。

評価は2022年度のもので、内容や点数配分などは変更される可能性もある。

IRAT (12点×8回=96点)

時間割の内「IRAT」となっている講義では、最初に小テストが行われる。全12問で、出題範囲は事前に配布される予習資料全範囲である。予習資料は量がかなり多く、これで勉強すると効率が悪いので、過去問を併用することを推奨する。IRATの過去問は数年分見しておくといよい。(割と昔の過去問が出る)満点続出のときも多い。

ミニレクチャー (2点×9回=18点)

単なる出席点。時間割の内「ミニレクチャー」となっている講義でもらえる。紙に名前を書くだけ。

映画で見る精神疾患 (10点×2回=20点)

映画を見て、登場人物の精神疾患名、症状、該当するシーンを解答する。作品は「ツレがうつになりまして。」(うつ病)と「ランボー」(心的外傷後ストレス障害)である。それほど難しくないなので、きちんと書こう。

ロールプレイングの発表 (80点)

与えられたお題に沿って、班のメンバーと演劇形式で発表を行う。参加することが大事。普通にこなせば、少なくとも60点はもらえる。

謎解きゲームによる診断能力テスト (30点)

班のメンバーと協力してやればOK。満点も頑張ればとれる。

映画による診断能力テスト (28点)

映画「クワイエットルームにようこそ」を見て、登場人物の診断をする。問題は選択問題だが、かなり難易度が高い。点数配分も高くないので、そこまで一生懸命やらなくて大丈夫だと思われる。

筆記テスト (84点)

国試の形式の問題。一部直近の国試の問題がそのまま出ているので確認する事をお勧めする。

再試験

0人(仮に落ちとしても追試ではなくレポート課題)

令和4年度「認知症・せん妄」IRAT

- ① 65歳の女性。物忘れがひどいことを主訴に、家族に伴われて来院した。自分が置いた財布の場所を忘れて「どろぼうが家に入り、財布を盗んだ」と言ったり、夕方になると、「ここは自分の家ではない。もう家に帰らなければ」と言って、家を出ていこうとする。家族によれば、最近はやがままで短気になったという。この患者で障害されていないのはどれか。
- a 性格 b 記憶 c 思考 d 知覚 e 見当識
- ② 認知症について正しいのはどれか。
- a 生来の知能障害も含まれる。 b 記憶障害以外の認知機能障害から始まることもある。
c 人格変化を伴わない。 d 失語、失行を伴わない。 e 成年後見制度の対象にならない。
- ③ Alzheimer病の初発症状で最も多いのはどれか。
- a 記憶障害 b 構成失行 c 夜間せん妄 d 反響言語 e 徘徊
- ④ Alzheimer病の検査所見で見られるのはどれか。
- a 脳波で後頭部のα波の増加 b 頭部エックス線単純CTでSylvius裂の拡大
c 頭部単純MRIで右側頭葉の萎縮 d 脳脊髄液の透明度低下
e 両側下肢の運動神経伝達速度の低下
- ⑤ 66歳の男性。頭痛、肩こりおよび物忘れを主訴として来院した。会話に異常を認めないが話題によって急に泣き出すことが目立つ。小刻み歩行がみられる。血圧 150/90mmHg。膝蓋腱反射が右側で亢進している。知能検査で記銘力低下を認める。考えられる疾患はどれか。
- a Alzheimer病 b Pick病 c 脳血管性認知症 d Wernicke脳症 e うつ病
- ⑥ 60歳の男性。従来は周囲に対する配慮ができていたが、最近は著しく自己中心的な言動が目立つようになったことを心配した家族に伴われて来院した。1年前から気力がなくなり、ボーッとたたずんでいることが多くなった。自室内には、数ヵ月前から収集し続けているペットボトルが山積みになっているという。最も考えられる疾患はどれか。
- a Alzheimer型認知症 b Lewy小体型認知症 c 前頭側頭型認知症 d 強迫症
e 統合失調症

- ⑦ 認知症の高齢者の介護で正しいのはどれか。2つの組み合わせで正しいものを選ぶ。
1 情報は簡潔に伝える。2 目を合わせないで話す。3 間違ったらその場で叱る。
4 生活環境を大きく変える。5 規則正しい生活を指導する。
a (1,2) b (2,3) c(1,5) d(2,4) e(4,5)
- ⑧ Alzheimer型認知症(痴呆)とせん妄とを鑑別できる症候はどれか。
a 不穏 b 徘徊 c 意識障害 d 易刺激性 e 記憶力低下
- ⑨ 65歳の女性。「嫁が財布を取った」と言っては騒ぐと家族に伴われて来院した。家族によれば、患者は最近わがままで短気になり、物忘れも目立つようになったと言う。財布は家族が一緒に探すと、机の引き出しの中に見つかったりする。患者は惘然として、「嫁は意地悪だ」と言う。診断にもっとも有用な検査はどれか。
a Rorschachテスト b Minnesota 多面人格検査(MMPI) c Mini-Mental State Examination(MMSE)
d 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Rating Scale(BPRS)] e Hamilton うつ病評価尺度
- ⑩ せん妄について正しいのはどれか。2つの組み合わせで正しいものを選ぶ。
1 幻視が出現する。2 意識障害を認める。3 追想が可能である。
4 見当識は保たれる。5 常同姿勢を呈する。
a(1,2) b(2,3) c(2,4) d(1,5) e(4,5)
- ⑪ 73歳の男性。肺炎でICUに入院した。身体的な経過は良好であったが、入院5日目から、夜になると点滴を外して暴れようとする。看護師がベッドに戻そうとすると、「ここはどこか」、「なぜ妻はいないのか」と興奮することもあった。日中は入院治療を受けていることをよく理解しており、夜間のことを覚えていない。精神症状への対応として適切なのはどれか。
a 一般病棟に移す。 b 家族の面会を制限する。 c 夜間、部屋を明るくする。
d 夜間、予防的に身体を拘束する。 e 昼寝をしてもらい睡眠時間を保つ。
- ⑫ 89歳の女性。大腿骨骨折で入院中である。10年前にAlzheimer型認知症と診断され内服治療中である。2日前に室内で転倒し動けなくなり救急車で搬送された。左大腿骨転子部骨折を認め、昨日、骨接合術を受けた。手術当日の経過は順調で夜間も良眠した。術後1日目の夕方から落ち着かなくなり、夜になって立ち上がるうとして一晩中大声で看護師を呼び続けていた。対応として適切なのはどれか。
a 強く叱責する。 b 疼痛管理を見直す。 c 体幹抑制を終日行う。
d ナースコールを取り外す。 e 同様に叫ぶ患者と同室にする。

令和4年度「統合失調症」IRAT

- ① 自我障害の訴えはどれか。
a 「脳が溶けています」 b 「自分の考えが抜き取られます」 c 「皆が自分の悪口を言っています」 d 「食事に変わったものを入れられています」 e 「何か恐ろしいことが起こりそうです」
- ② 症候とその説明の組合せで正しいのはどれか。
a 強迫観念→他人に自分の考えが伝わってしまう。 b 思考途絶→思考が不活発で考えが前に進まない。 c 支配観念→思考が外部から支配される。 d 反響言語→主題はそれないが細部にこだわる。 e 連合弛緩→関連のない観念が浮かんでまとまらない。
- ③ 家族から聴取した患者の言動のうち、一次妄想と考えられるのはどれか。
a 「夜眠れるかいつも心配しています」 b 「『自分の考えていることが抜き取られる』と言っています」 c 「『いつもとは何か違って不気味な感じがする』と言っています」 d 「『気が重くて、自分はずまらない人間だ』と嘆いてばかりです」 e 「難しい哲学的な言葉が多くて、何を言いたいのかわかりません」
- ④ 統合失調症に特徴的な症状2つの組み合わせを選べ。
1 人前でスピーチするのが怖い。 2 自分を批判する複数の人の声が聞こえる。 3 話題が飛び、会話はまとまりを欠き、了解不能である。 4 外界と自分との間にベールがあり、周囲ものに実感が湧かない。 5 家の前に立っている男性を見て、その人に狙われていると確信する。
a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (2,4) e (3,4)
- ⑤ 統合失調症で正しい2つの組み合わせを選べ。
1 モノアミンが関与している。 2 大脳に炎症性変化が存在する。 3 陰性症状に対する薬物効果は高い。 4 発症初期の積極的な治療的介入が重要である。 5 有病率は人口10万当たり約10である。
a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (2,4) e (3,4)
- ⑥ 35歳の男性。反応が鈍く奇妙な姿勢をとることを心配した会社の上司に伴われて来院した。半年前から上司に「誰もいないのに職場の同僚からの悪口が聞こえてくる」と訴えていた。昨日から「会社に殺される」、「考えていることが会社に筒抜けになる」と独り言をつぶやいていたかと思うと、黙り込んで開眼したまま無反応になったという。診察時に右手を挙上させるとそのままの姿勢をいつまでも保持する。最も考えられる診断はどれか。
a うつ病 b 適応障害 c 緊張病症状候群 d 広汎性発達障害 e Korsakoff 症候群
- ⑦ 22歳の女性。不眠と、まとまらない言動とを心配した家族に伴われて来院した。3年前に母親を亡くした後に、まとまらない言動を示し、約1ヶ月の入院加療で完全寛解に至り仕事に復帰した。その後、通院加療を受けていたが、1年前から通院を中断していた。10日前から友人と海外旅行に行ったが、不眠が続き何かにおびえているような態度を示すようになった。昨日、帰国後もおびえた様子で眠らず、とりとめのないことを呟き、急に攻撃的になったため受診した。診察時、質

問に返答することはなく視線を合わせず黙り込んだかと思うと「今、真理をつかむために神と話し合っている。邪魔するな」と興奮状態となった。神経学的所見、血液所見、血液生化学所見、脳波所見および頭部単純CTに異常を認めない。治療薬として最も適切なものはどれか。

a ジアゼパム b バルプロ酸 c パロキセチン d 炭酸リチウム e リスペリドン

⑧ 統合失調症の心理・社会的側面への配慮として適切なものはどれか。

a 妄想は否定し根拠強く説得する。 b 患者にも家族にも病名は告知しない。 c 幻覚については患者の体験を尊重する。 d 幻覚妄想の治療として生活技術訓練を行う。 e 薬物療法を終了してから心理・社会治療を行う。

⑨ 72歳の女性。言動の変化を心配した家族に伴われて来院した。3年前に夫を亡くしてから、一人暮らしを続けている。これまでに精神症状を呈したことはなかった。3ヶ月前から自宅に閉じこもりがちになったため、心配した長女が様子を見に行ったところ「外に出ると皆が自分の悪口を言っている」、「隣の人がいつも自分を監視している」といった話を続けたという。診察時には表情が明るく、抑うつ気分は認めない。疎通性も良好である。幻覚は認めず、改訂長谷川式簡易知的機能評価スケールは30点(満点30)であった。最も考えられるのはどれか。

a うつ病 b 妄想性障害 c 統合失調症 d 強迫性障害 e 社会不安障害

⑩ 20歳の女性。言動の異常を心配した両親に伴われて来院した。家族によれば、「家の前の道路を通る人から悪口を言われている」、「盗聴されている」と言って騒ぎ、自宅に閉じこもり、昼夜は逆転し興奮をきたすという。診断に有用な検査はどれか。

a 状態特性不安検査(STAI) b 田中・Binet式知能検査 c Minnesota多面人格検査(MMPI)
d ウィスコンシンカードソーティングテスト(WCST) e 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Rating Scale(BPRS)]

⑪ 統合失調症の良好な予後に関連する3つの組み合わせを選べ。

1 緩徐な発症 2 思春期の発症 3 病前の良好な社会適応 4 発症における誘因の存在
5 循環気質的傾向の病前性格

a (1, 2, 5) b (2, 3, 4) c (1, 4, 5) d (3, 4, 5) e (1, 3, 5)

⑫ 統合失調症治療薬の副作用で最も出現頻度が高いのはどれか。

a 顆粒球減少症 b 筋弛緩 c 女性化乳房 d 錐体外路症状 e 体重減少

令和4年度「気分障害」IRAT

- ① うつ病の患者の訴えで典型的と考えられるのはどれか。
a 「妻が浮気している」 b 「食事に毒が入っている」 c 「いつも誰かに尾行されている」
d 「お金がなくてどうにもなりません」 e 「周囲の雰囲気が変わってしまった」
- ② うつ病の可能性が高いのはどれか。
a 「試験の前夜は心配で眠れません」 b 「3、4時間しか眠りませんが大丈夫です」
c 「息が苦しくて何度も目が覚めてしまいます」 d 「前に経験した事故の夢を繰り返し見て眠れません」
e 「朝方3時、4時から目が覚めてその後一向に寝つけません」
- ③ 躁病でみられる思考障害はどれか。
a 観念奔逸 b 思考伝播 c 思考制止 d 減裂思考 e 連合弛緩
- ④ 躁状態の患者の発言と考えられるのはどれか。
a 「夜なかなか寝つけません」 b 「夜中に何度も目が覚めます」 c 「寝ていると金縛りにあいます」
d 「夜は眠らなくても大丈夫です」 e 「脚がむずむずしてよく眠れません」
- ⑤ 48歳の男性。不眠を主訴に来院した。長年にわたる支店での活躍が評価され、半年前に本店に栄転した。当初は喜んだものの、環境の変化になじめず、期待に応える仕事ができないと自分を責め、終日気分が晴れず夜は一睡もできなくなった。1ヵ月前から仕事が手につかなくなり退職を申し出たところ上司に受診を勧められた。抑うつ気分、意欲低下および全般的な興味や関心の低下がみられ、身体診察で異常所見を認めないことからうつ病と診断した。対応として適切なものはどれか。
a 自殺については話題にしない b 就寝前に少量の飲酒を勧める。 c 病気の症状であることを説明する。 d すぐに前の職場に戻すように上司に勧める。 e 仕事ができない原因について上司と話し合ってもらおう。
- ⑥ うつ病の患者における「何を食べても同じような感じで、砂をかんでいるようです」という訴えから考えられるのはどれか。
a 幻覚 b 強迫 c 妄想 d 心気症 e 離人症
- ⑦ 40歳の女性。「気分の上がり下がり」を主訴に夫とともに来院した。1年前の転居を機に気分が落ち込み、家事が全く手につかず寝込むようになった。家事を夫に任せて生活していたところ2ヵ月前から回復し、この2週間は逆に気分が高揚して多弁で眠らない状態が続いているため受診した。話があちこちに

飛び、まとまらない。「以前の調子の悪さが嘘のようで絶好調だ」という。身体所見に異常を認めない。
治療薬として適切なものはどれか。

a スルピリド b ジアゼパム c パルプロ酸 d リスベリドン e メチルフェニデート

⑧ うつ病と診断された就労者に対する治療導入時の説明で適切でないのはどれか。

a 「治療中には症状の一進一退があります」 b 「病気であり急げではありません」
c 「休養と薬物療法が重要です」 d 「回復には数ヶ月かかります」 e 「早めに退職を考えましょう」

⑨ 28歳の男性。仕事に落ち着きがないことを心配した会社の上司に伴われて来院した。3ヶ月前から元気がなく、仕事を休みがちであった。ところが、1週間前から朝早く出社し、与えられた仕事をこなすだけでなく、次々と新しい企画の計画書を作成しては、上司に対して繰り返し説明を続けるようになった。母親がうつ状態で入院したことがある。この患者の発言として考えられるのはどれか。

a 「同僚から嫌がらせをされています」 b 「頭の中に上司の考えが入ってきます」
c 「夜まったく眠らなくても大丈夫です」 d 「自分の考えは上司に操られています」
e 「仕事の内容を何度も確認しないと安心できません」

⑩ 48歳の男性。不眠を主訴に来院した。6ヶ月前に自ら望んで転職し、当初は順調であったが、2ヶ月前からは気分の落ち込みと作業能力の低下とを自覚していた。最近の1ヶ月は転職したことを公開して食事もとれなくなり、不眠が次第に悪化してきたという。本日会社を早退し、自宅で遺書を用意していたところを妻に発見され受診した。現時点の対応として適切なものはどれか、2つ選べ。

1 できるだけ早く休息を取らせる。2 現在の職場を辞めるように勧める。3 自殺を計画したことをとがめる。4 自殺について触れないようにする。5 治療が必要な病気であることを説明する。
a (1, 2) b (1, 5) c (2, 3) d (2, 4) e (4, 5)

⑪ 電気けいれん療法について正しいのはどれか。

a 高齢者に行ってはならない。b 重症うつ病は適応疾患である。c 脳神経外科医の協力が必要である。d 最近では行われることがまれである。e 患者やその保護者の同意なしに実施できる。

⑫ 45歳の女性。3週間からの抑うつ気分と自責感を主訴に来院した。診断に重要な症状はどれか。

a 不眠 b 食欲亢進 c 皮膚掻痒感 d 下肢脱力感 e 不正性器出血

令和4年度「神経発達症」IRAT

- ① 4歳の男児。保育所で他の児に興味を示さないことを指摘され来院した。身長102cm、体重15.6kg。乳児期には母親の後追いをせず、現在も一人で遊ぶことが多い。発語が遅く二語文は話せない。換気扇に異常な興味を持っている。この疾患で見られるのはどれか、2つ選べ。
- 1 同じ動作を繰り返す。 2 オウム返しに言う。 3 人見知りをする。 4 視線を合わせる。 5 ごっこ遊びを好む。
- a (1, 2) b (2, 5) c (2, 3) d (3, 4) e (4, 5)
- ② 自閉スペクトラム症について誤っているのはどれか。
- a 知的能力障害を伴う。 b 感覚過敏を伴う。 c 3歳までにはほぼ症状が出そろふ。 d 言葉の出現と共に意思伝達の障害は改善する。 e 日常の習慣が変更されることに抵抗を示す。
- ③ 自閉スペクトラム症について正しいものはどれか。
- a 感覚過敏を伴うことが特徴である。 b 適切な育児によって愛着は形成される。 c 1歳前後で人見知りや後追いが激しい。 d 知的障害の遅れを伴うものは約30%である。 e 言葉が現れればコミュニケーションが成立するようになる。
- ④ 8歳の男児。学校へ行きたがらないことを主訴に母親に連れられて来院した。成績は中程度であるものの文字を書くことが苦手で、特に漢字を見本通りに書き写すことができない。このために教師や親から叱責されることが多くなり学校に行きたがらなくなった。友達関係に問題なく、運動も普通にできる。手先はやや不器用であるものの神経学的診察で他に異常を認めない。この患者について誤っているのはどれか。
- a 男児に多い。 b 知能は正常範囲であることが多い。 c 注意欠陥多動性障害の合併が多い。 d 成人まで基本症状は持続することが多い。 e 作業に真剣に取り組ませると書字は改善することが多い。
- ⑤ 8歳の男児。落ち着きのなさを主訴に母親に連れられて来院した。幼児期から落ち着きのなさが認められ、遊びでも順番やルールを守ることができなかった。授業中に席を離れることがあり、家では宿題を嫌がってなかなかやらない。成績は中程度であり、身体所見に異常を認めない。まず行うべき対応として適切なものはどれか。
- a 薬物療法を導入する。 b 問題行動には厳しく叱責する。 c 教室全体が見えるように一番後ろに座らせる。 d 集中可能な持続時間を考慮して課題に取り組ませる。 e 母親に対して大人になれば改善することを説明する。
- ⑥ 9歳の男児。学校で教師や生徒と会話をしないことを指摘され、心配した両親に伴われて来院した。幼稚園の年長のころから、話しかけられてもうなずく程度となり、発語が乏しくなったという。家庭では幼少時から現在まで、家族と普通に会話している。生育歴は言葉の発達が少し遅れた程度で、目立った問題はなかった。成績は中位である。身体診察所見に異常を認めない。最も考えられるのはどれか。
- a 小児発達流暢症(吃音症) b 自閉スペクトラム症 c 限局性学習症(障害) d 素行症(行為障害)
- e 選択性緘黙

- ⑦ 21歳の男性。「就職のことなどが心配である」という訴えで来院した。出生時特記事項なし。手先は不器用であったが、言語の遅れはなかった。幼少期は周りの人と視線があわず、一人遊びが多かった。小学校では「プロ野球博士」と呼ばれるほど選手の背番号や経歴に詳しかった。学校ではいじめられることが多かった。現役で希望の大学に入学したが、友達は少なく恋愛経験もない。この患者にみられるものは、どれか2つ選べ。
- 1 知的能力障害 2 睡眠障害 3 記憶障害 4 社会性の障害 5 関心・行動の制限
- a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (3,4) e (4,5)
- ⑧ 7歳の男児。意志の疎通がとれないことを心配した両親に伴われて来院した。乳児期からあやされても喜ばず、3歳まで有意語がなかった。現在、日常会話はかるうじて可能だが、相手の言葉に対するオウム返しが多い。興味の対象が限られ、それに執着する傾向があり、決まった遊びをいつまでも繰り返す。いつもと違う状況になると不安になり大騒ぎになる。IQは49、運動発達は良好である。この男児に考えられるのはどれか、2つ選べ。
- 1 パーソナリティ障害 2 学習障害 3 知的能力障害 4 神経発達症(広汎性発達障害)
- 5 注意欠陥多動症(性障害)(ADHD)
- a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (3,4) e (4,5)
- ⑨ 注意欠陥多動症(性障害)(ADHD)にみられる症状のうち、注意欠陥と考えられる訴えはどれか。
- a 「順番を待つことが苦手だ」 b 「ささいなことで気が散りやすい」 c 「椅子に座っていても手足を動かしてしまう」
- d 「小学3年生になるのに自分の名前が書けない」 e 「学校の持ち物が気に入り何度も確認してしまう」
- ⑩ 注意欠陥多動症(性障害)(ADHD)について正しいのはどれか。
- a 小児の約0.5%にみられる。 b 女児に多い。 c 知的障害が合併する。 d 脳内ドパミン神経系の異常がみられる。
- e 副腎皮質ステロイド薬が有効である。
- ⑪ 注意欠陥多動症(性障害)(ADHD)で正しいのはどれか、2つ選べ。
- 1 女性に多い。 2 知的障害は認めない。 3 10歳前後で発症する。 4 衝動的行動を認める。
- 5 学業成績には影響しない。
- a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (3,4) e (4,5)
- ⑫ 15歳の男子。不登校を心配した母親に伴われて来院した。10歳時に急に首を傾けたり、顔をしかめたり、咳払いや「オッ」という声を発作的に発したりするようになった。自分では制御できずに卑猥な言葉も発するようになった。緊張すると顔しかめや発生の発作が増えるため、学校では奇異な目で見られ、いじめられた。2年前から欠席が目立ち始め、1ヶ月前から不登校となった。身体所見に異常を認めない。尿、血液および血液生化学所見に異常を認めない。頭部CTと脳波に異常を認めない。治療薬として適切なのはどれか。
- a L-dopa b 炭酸リチウム c パロキセチン d ハロペリドール e メチルフェニデート

令和4年度「不安症・強迫症・ストレス因関連障害」IRAT

- ① 40歳の女性。呼吸困難を主訴に搬入された。約20分前、勤務中に突然息苦しさが出現した。半年前から、1ヵ月に数回程度、突然息苦しさが出現し、同時に動悸、めまい感、悪心および意識を失いそうな恐怖を感じたという。いずれも10～30分で症状は完全に消えた。内科で精査したが発作時の心電図検査を含めて異常はみられていない。今後みられる可能性が高い症状はどれか。
- a 解離 b 強迫 c 失神 d 過覚醒 e 予期不安
- ② パニック症(障害)におけるパニック発作の特徴はどれか。
- a 予期しない状況で起こる。 b 特定の社会的状況で起こる。 c 客観的に危険な状況で起こる。
d ストレス刺激に反応して起こる。 e 身近な家族から離れていると起こる。
- ③ パニック発作中にみられるのはどれか、2つ選べ。
- 1 解離 2 徐脈 3 呼吸促進 4 死の恐怖 5 予期不安
- a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (3,4) e (4,5)
- ④ 28歳の男性。人前に出るのが怖くなったため、自ら治療を希望して精神科外来を受診した。3ヵ月前から誰かと会って話をすると、その相手を殴ってしまうのではないかと繰り返し考えるようになった。自分でもばかばかしいことと感じているが、最近では閉じこもりがちな生活に陥っている。最も考えられるのはどれか。
- a パーソナリティー障害 b 妄想性障害 c 解離症(性障害) d 強迫症(性障害)
e 適応障害
- ⑤ 「車を運転して人をはねてしまったんじゃないかと思うんです。そんなことはない分かっているんですが、どうしても気になります」という訴えから考えられるのはどれか。
- a 強迫観念 b 罪業妄想 c 作為体験 d 減裂思考 e 妄想着想
- ⑥ 62歳の女性。物忘れを主訴に1人で来院した。半年前から大切なことを忘れそうで何かとメモを取るようになった。メモを取っても取り忘れたのではないかと落ち着かなくなる。だんだん記憶力が落ちてきたと思う。楽しみにしていた友人との旅行を、旅先で体調を崩すのが心配になって取りやめてしまった。救急車のサイレンを聞くと、孫が事故にあったのではないかと気もそぞろになる。動悸がしやすく、時々めまいもするが、家事全般はこなしている。身なりは整い、動作は機敏で、面接中はやや緊張しているが、受け答えは適切である。考えられるのはどれか。
- a うつ病 b Pick病 c 全般不安症(全般性障害) d 身体症(身体表現性障害)

e Alzheimer 型認知症

- ⑦ 社交不安症(社会不安障害)について正しいのはどれか、2つ選べ。
1 注察妄想に発展する。2 発汗とふるえを伴う。3 パニック発作を認めない。
4 社会から疎外されていると考える。5 他の人々から注視される状況避ける。
a (1,4) b (2,5) c (2,3) d (2,4) e (3,4)
- ⑧ 全般不安症(全般性不安障害)の患者の訴えと考えられるのはどれか。
a 「人前で話すとすぐに顔が赤くなります」 b 「おなかの痛みが癌ではないかと心配です」
c 「いつも緊張して、休まるときがありません」 d 「誰もいないところで発作が起こるのが心配です」
e 「鍵をかけたのか、何度も確認しないと気が済みません」
- ⑨ 社交不安症(社会不安障害)の患者の訴えと考えられるのはどれか。
a 「怖いので飛行機には乗れない」 b 「世間の人々から嫌われている」 c 「明日にも何か大変なことが起こる」
d 「人ごみや公共の場所に行くと不安になる」 e 「人前では緊張して思うように話ができない」
- ⑩ 32歳の男性。不眠を主訴に来院した。消防隊員として大規模災害の支援に災害発生の翌日から派遣され、厳しい状況下で2週間救助活動を行った。その後元の職場に戻り、しばらくは問題なく過ごし、むしろ以前よりも真剣に仕事をこなしていた。しかし救助活動から戻った約2ヵ月後から何度も夜中に覚醒するようになり、いらいらして集中力も落ちてきたため産業医に相談し受診した。特記すべき既往歴はない。仕事への意欲はあり、疲労感の増大は見られない。診断のために重要な質問はどれか。
a 「嫌な情景が急に浮かんでくることがありますか」 b 「家族につらい症状を話す少しは楽になりますか」
c 「今晩も眠れないのではないかと不安になりますか」 d 「ひどく気持ちが落ち込んで、それが何日も続いていますか」
e 「以前は楽しかったことを楽しめなくなったように感じますか」
- ⑪ 心的外傷後ストレス障害(PTSD)について誤っているのはどれか。
a 自立神経過覚醒状態が起こる。 b 感覚が鈍くなり物事を楽しめなくなる。 c ストレス反応は1ヵ月以内に消失する。
d 外傷体験の想起につながる状況を回避する。 e 外傷体験となった出来事を繰り返し回想する。
- ⑫ 28歳の女性。仕事が全く手につかないことを主訴に来院した。2ヵ月前に家族でドライブ中に交通事故に遭い、腹部に重傷を負ったが頭部打撲は免れた。両親は即死した。身体状態は改善したが、1ヵ月前から日中覚醒時に事故の光景が頻りに目に浮かび、不安におののくようになった。この病態で起こりやすいのはどれか。
a 悪夢 b 過眠 c 幻覚 d 夜驚 e 既視感

令和4年度「その他の神経症①(身体症状症、解離症)」IRAT

- ① 離人感・現実感消失症に関する次の文章のうち正しいものはどれか？
- a 離人感・現実感消失症の一過性の症状は一般人口においても広くみられるが、診断基準を完全に満たすような症状は著しく少ない。
 - b 女性の離人感・現実感消失症の発症率は、男性の約1.5倍である。
 - c この障害のもっとも一般的な発症年齢は25～35歳の間にある。
 - d 離人感・現実感消失症のエピソードの間、人は自分が「狂いそうだ」と感じて典型的には現実検討を失う。
 - e 離人感・現実感消失症をもつ人の中で最も多い小児期の心的外傷体験は性的虐待である。
- ② 25歳の女性が、意識を失っているように見え、頭を左右に揺らし自転車をこぐように腕と足を動かしているエピソードの評価のために入院している。エピソードは1日に数回起こり、数分間続く。エピソード中の脳波は、どのような発作波も認められていない。発作の直後に、彼女の意識は清明にみえる。最も可能性の高い診断は何か。
- a てんかん b 詐病 c 身体症状症 d 変換症(機能的神経症状症) 発作またはけいれんを伴う
 - e 作為症
- ③ 解離性(転換性)障害について誤っているのはどれか。
- a 多重人格が含まれる。 b トランス状態が含まれる。 c パニック症がしばしば併存する。 d 解離性逃走(フーグ)では解離性健忘を伴う。 e 精神分析的には疾病利得が根底に存在する。
- ④ 32歳の女性。一年前に夫婦喧嘩の最中に動悸がひどくなり、息が苦しくなり、気が遠くなり、体が弓なりの緊張状態となって近医で処置を受けた。その後、同様の発作の頻度と持続時間とが増加した、最近では夫婦仲も冷えて離婚話も出てきたが、その話が出るたびに発作を繰り返し、外来受診をしていた。身体的異常はない。治療として適切なのはどれか。
- a 精神療法 b 抗精神病薬投与 c 電気痙攣療法 d 抗てんかん薬投与 e 生活技能訓練 (Social Skills Training:SST)
- ⑤ 睡眠障害と治療薬の組合せで誤っているのはどれか。
- a ナルコレプシー⇔メチルフェニデート
 - b 睡眠時無呼吸症候群⇔ジアゼパム
 - c 睡眠覚醒スケジュール障害⇔メラトニン
 - d むずむず脚症候群⇔プラミベキソール
 - e レム(REM)睡眠行動障害⇔クロナゼパム

- ⑥ ナルコレプシーの患者の訴えと考えられるのはどれか、2つ選べ。
 1 「会議中に突然眠ってしまいます」 2 「足がむずむずしてよく眠れません」 3 「毎日明け方になるまで眠れません」
 4 「寝入りばなに誰かに呼ばれる気がします」 5 「毎晩、眠れないのではないかと不安になります」
 a (1, 4) b (2, 5) c (2, 3) d (2, 4) e (3, 4)
- ⑦ 入眠後2～3時間後で出現することが多いのはどれか。
 a せん妄 b 悪夢障害 c 夢中遊行症 d ナルコレプシー e 睡眠覚醒スケジュール障害
- ⑧ 不眠症の対処として最も適切なのはどれか。
 a 早寝早起きを心掛ける。 b 眠くなくても寢床に入る。 c 目が覚めたら日光を浴びる。
 d 睡眠薬代わりに寝る前に酒を飲む。 e 昼寝も含めて1日8時間は睡眠をとる。
- ⑨ 78歳の男性。「誰もいないのに知らない人が部屋に見える」と訴え、来院した。妻によると、数年前から日中は眠そうてぼろぼろとしていることがしばしばあり、徐々に物忘れが目立ってきたという。動作は緩慢で、小刻みに歩く。この疾患でみられるのはどれか。
 a 常同行動 b 滞続言語 c 言語蹉跌 d 全生活史健忘 e レム(REM)睡眠行動障害
- ⑩ 15歳の男子。夜間の異常行動を主訴に母親とともに来院した。2週前、午前1時ごろ患者の部屋で大きな音がしたため母親が確認に行くと、患者がうつろな眼差しで部屋の中を歩いており、目覚まし時計が床に転がっていた。手をつかもうとすると急に暴れ始め抑え切れなかったため父親を呼びに行き、部屋に戻るとベッドの中で寝ていた。翌日に確認すると「夜の10時半ごろから朝までぐっすり寝ていた」と述べ、昨夜の出来事を全く覚えていなかった。昨晩も同様の状態がみられたため受診した。身体所見、血液生化学所見および脳波所見に異常を認めない。最も考えられるのはどれか。
 a 夜驚症 b 悪夢障害 c 夢中遊行症 d レム(REM)睡眠行動障害 e 睡眠覚醒スケジュール障害
- ⑪ 50歳の女性。数年にわたり皮膚がんの評価を受けるために、皮膚科医のもとを何度となく訪れ、そばかす、母斑等の皮膚の症状を繰り返し訴えている。いずれも異常であったことはなく、かゆみ、出血その他身体症状もない。彼女はパニック発作の既往がある。もっとも可能性の高い診断は何か。
 a うつ病 b 病気不安症 c 変換症 d 身体症状症 e 作為症
- ⑫ 60歳の男性が、骨転移を伴う前立腺がんを患っており、持続性の疼痛があるため治療中である。疼痛は十分に制御されているが、この症状のために仕事ができないと訴えている。疼痛のために、新しい転移巣が出来ており、もうすぐ死ぬのではないかと心配になり、差し迫った死の恐怖を訴え続けている。この患者の診断名で最も適切なものは何か。
 a パニック症 b 病気不安症 c 身体症状症 d 適応障害 e 変換症(転換性障害)

令和4年度「その他の神経症②(睡眠-覚醒障害、摂食障害)」IRAT

- ① 神経性過食(大食)症について正しいのはどれか。
- a 体重は標準を超える。 b 無月経を伴うことが多い。 c 過食はしても絶食はしない。
d 近年、神経性食思(欲)不振症よりも発生頻度が低い。 e 電解質異常と代謝性アルカローシスをしばしば伴う。
- ② 20歳の女性。便秘、皮膚乾燥および1年間の無月経を主訴に来院した。既往歴に特記すべきことはない。高校卒業後、食行動の異常を認め、体重は極端に減少した。両親と弟との4人家族。母親との間に強い葛藤があり、日常会話は極めて少ない。意識は清明。身長162cm、体重38.5kg。体温35.8℃。脈拍56/分、整。血圧92/56mmHg。この疾患で認められるのはどれか。
- a 病識欠如 b 恥毛脱落 c 皮膚の委縮 d 活動性低下 e 皮膚色素沈着
- ③ 14歳の女子。学校の健康診断で高コレステロール血症を指摘されたため精査目的で来院した。1年半前から友人と一緒に食事量を減らしてダイエットを開始した。半年前からは筋カトレーニングも開始した。最近では倦怠感を強く自覚している。減量開始前の体重は43kgであった。意識は清明だが、表情は乏しい。身長151cm(-0.9SD)、体重27kg(-2.8SD)。体温35.6℃。脈拍44/分、整。血圧110/92mmHg。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟。皮膚は乾燥が目立ち、四肢に冷感を認める。血液生化学所見：総コレステロール 268mg/dl、トリグリセリド 83mg/dl、TSH4.6 μ U/ml(基準 0.2~0.4)、FT₃ 1.8pg/ml(基準 2.5~4.5)、FT₄ 0.8ng/ml(基準 0.8~2.2)。頭部MRIで軽度の脳萎縮を認める。この疾患に認められる症候はどれか、3つ選べ。
- 1 無月経 2 粘液水腫 3 おちゃ食い 4 自己誘発性嘔吐 5 アキレス腱肥厚
- a (1, 2, 3) b (1, 2, 5) c (1, 3, 4) d (2, 3, 4) e (2, 4, 5)
- ④ レム睡眠行動障害に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか、1つ選べ。
- a 覚醒時、異常行動をおこした際の夢の記憶はない。 b 50歳以上の男性に多い。
c ナルコレプシーと鑑別が必要な場合がある。 d 抗うつ薬で発症する場合がある。
e 筋緊張低下を伴わないレム睡眠が特徴的である。
- ⑤ 悪夢障害に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか、1つ選べ。
- a 覚醒時に悪夢はよく記憶されている。 b 睡眠時間の前半におきることが多い。
c 遺伝的な影響がある。 d 成人では男性より女性の有病率が高い。
e 睡眠中に周期性四肢運動をみとめる。

- ⑥ ノンレム睡眠からの覚醒障害に関する次の記述のうち、正しいものはどれか、1つ選べ。
- a 睡眠時間の最後の1/3に起きることが多い。 b 睡眠時遊行症はエピソード時の記憶が残る。
 - c 睡眠時遊行症は高齢者に多い。 d 睡眠時驚愕症は遺伝性がない。
 - e 睡眠時驚愕症では、頻脈、呼吸促進、発汗、瞳孔散大を示す。
- ⑦ ナルコレプシーに関する次の記述のうち、正しいものはどれか、1つ選べ。
- a 入眠時幻覚がほぼ必発である。 b 痩せている人によくみられる。
 - c メラトニン産生細胞の欠乏が認められる。 d 情動脱力発作を合併する。
 - e 好発年齢は30歳前後である。
- ⑧ 過眠障害に関する次の記述のうち、正しいものはどれか、1つ選べ。
- a 約30%の症例でウイルス感染が先行する。 b レム睡眠が増加する。
 - c 高齢者に多い。 d 平均して約9～10時間の睡眠を要する。
 - e 平日でも睡眠時間を減少できない人が多い。
- ⑨ 不眠障害に関する次の記述のうち、正しいものはどれか、1つ選べ。
- a 治療が必要と診断された場合、まずは薬物療法を行う。 b レストレスレッグス症候群では、早朝覚醒が多い。
 - c 睡眠12箇条では毎日同じ時刻に入眠することを推奨する。 d ベルソムラはメラトニン受容体作動薬である。
 - e 診断には三ヶ月以上の睡眠困難を伴う必要がある。
- ⑩ 神経性やせ症(無食欲症)で起こり得る検査値はどれか、3つ選べ。
- a 高K血症 b T3低値 c トランスアミナーゼの上昇 d 白血球増加
 - e コレステロール値の上昇
- ⑪ リフィーディング(Refeeding)症候群で生じる可能性がある以下の所見・症状のうち、間違っているのはどれか、1つ選べ。
- a 高P血症 b Vit.B1欠乏症 c 低Mg血症 d けいれん e 心不全
- ⑫ 過食性障害(Binge-Eating Disorder)に関して、正しいものはどれか、1つ選べ。
- a 男性が多い。 b 一人で食べることがほとんどである。 c ゆっくり、大量に、苦しいくらい満腹になるまで食べる。 d 過食後は、満足し、気分は良好になる。 e 不適切な代償行為が認められる。

令和4年度「物質関連障害および嗜癖性障害」IRAT

- ① 精神作用物質と離脱症状の組合せで正しいのはどれか、3つ選べ。
1 アヘン:縮腫 2 アルコール:発汗 3 抗不安薬:不眠 4 ニコチン:食欲低下
5 メタンフェタミン:疲労感
a (1, 2, 3) b (2, 3, 4) c (1, 2, 5) d (2, 3, 5) e (1, 2, 4)
- ② 睡眠薬依存の離脱症状として適当なものを2つ選べ。
1 過食 2 不安 3 強迫 4 誇大妄想 5 けいれん発作
a (1, 2) b (2, 3) c (2, 4) d (3, 4) e (2, 5)
- ③ 覚せい剤精神病(精神刺激薬関連障害)でみられるのはどれか、2つ選べ。
1 意識変容 2 通過症候群 3 逆耐性現象 4 フラッシュバック現象
5 レム(REM)睡眠行動障害
a (1, 2) b (2, 3) c (2, 4) d (3, 4) e (1, 5)
- ④ 28歳の女性。B型肝炎の治療のために内科に入院した。入院当日に大声を出して興奮状態となったため精神科に転科となった。「盗聴され、監視されている」、「殺される」とおびえながら話す。以前、覚醒剤の乱用で同様の状態が発生したことがあるが、ここ2年間は覚醒剤を使用していなかった。今回の入院を契機に急激にこのような状態となった。意識は清明。最も考えられるのはどれか。
a 覚醒剤の急性中毒状態 b 覚醒剤の身体依存状態 c 覚醒剤依存症の離脱症状
d 覚醒剤使用中止の反跳現象 e 覚醒剤精神病のフラッシュバック
- ⑤ アルコール依存症(アルコール関連障害)の治療について適切なものはどれか。
a 断酒会は匿名参加が原則である。 b 断酒より容易な節酒を目標とする。
c 離脱症状にベンゾジアゼピン系薬を投与する。 d 脳症の予防としてビタミンDを大量に投与する。
e 抗酒薬を患者に知らせず家族に食事に混ぜさせる。
- ⑥ アルコール依存症(アルコール関連障害)と関係があるのはどれか、2つ選べ。
1 Leigh脳症 2 Wernicke脳症 3 Korsakoff症候群 4 Kartagener症候群
5 Lambert-Eaton症候群
a (1, 2) b (2, 3) c (2, 4) d (3, 4) e (1, 5)

- ⑦ アルコール依存症(アルコール関連障害)の離脱症状でないのはどれか。
 a 幻視 b 興奮 c 作話 d 振戦 e 発汗
- ⑧ 依存性がないのはどれか。
 a 睡眠薬 b 鎮痛薬 c 精神刺激薬 d 抗精神病薬 e ベンゾジアゼピン抗不安薬
- ⑨ 52歳の男性。大量飲酒を主訴に妻に伴われて来院した。23歳から飲酒を始め、10年前からは日本酒1升を毎日飲酒していた。この半年間は朝から飲酒し、食事量が減少し、仕事も休みがちになった。健康診断で肝機能障害を指摘されている。意識は清明で、静穏である。このままではいけないと説明したが、本人は「酒を飲まないと思えない。酒はやめようと思えばやめられる」と述べている。
 対応として適切なのはどれか。
 a 節酒を勧める。 b 抗酒薬を妻に渡す。 c 抗精神病薬を処方する。 d 閉鎖病棟に入院させる。
 e 自助グループへの参加を勧める。
- ⑩ アルコール依存症(アルコール関連障害)のスクリーニングの質問として有効でないのはどれか。
 a 「朝一番に飲酒をすることがありますか」 b 「アルコール度数の高いお酒が好きですか」
 c 「飲酒に対して罪悪感を持ったことがありますか」 d 「他人から飲酒に対して注意されたことがありますか」
 e 「飲酒を控えなければならぬと感じたことがありますか」
- ⑪ 長期にわたる大量飲酒の結果としてアルコール依存症(アルコール関連障害)となった患者が、飲酒中止後の数時間から数日以内に発症する可能性が高いのはどれか、2つ選べ。
 1 意識障害 2 過眠 3 けいれん 4 作話 5 徐脈
 a (1, 2) b (2, 3) c (1, 3) d (3, 4) e (1, 5)
- ⑫ 45歳の男性。全身倦怠感を主訴に来院した。20歳から毎日飲酒するようになり、日本酒を1日4合飲んでいて、35歳時に健康診断で肝機能障害を指摘され、産業医から内科受診と禁酒とを繰り返し勧められたが、受診せず飲酒を続けていた。2ヵ月前に仕事上のトラブルがあり、飲酒量が急激に増加し、5日前からは、朝から飲酒し仕事に行かなくなった。3日前から全身倦怠感が強くなり、外来で肝機能障害が認められ、入院することになった。入院後3日、「ここは火葬場で、周りの人間が自分を燃やそうとしている」と言い、興奮し始めた。発汗が著明である。粗大な手指震戦を認め、自分の居る場所が病院であることを理解できず困惑している様子である。現時点の対応として適切なのはどれか。
 a 身体拘束を行う。 b 抗酒薬を投与する。 c 三環系抗うつ薬を投与する。
 d ビタミンを含む輸液を行う。 e 入院形態を措置入院に変更する。